



2025年2月14日

各 位

会 社 名 ENEOSホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 宮田 知秀  
コード番号 5020 東証プライム・名証プレミア  
問合せ先 インバスター・リレーションズ部 IRグループマネージャー  
於勢 孝  
(電話番号 03-6257-7075)

**連結子会社（JX金属株式会社）の上場承認及び  
当社所有株式の一部売出しに伴う子会社等の異動に関するお知らせ**

本日、株式会社東京証券取引所より、当社の連結子会社であるJX金属株式会社（以下「JX金属」）の東京証券取引所プライム市場への新規上場が承認されました。それに伴い、当社が保有するJX金属株式の一部につき今後売出し（以下「本売出し」）を行うことにより、JX金属は連結子会社から持分法適用会社となること、及びJX金属の子会社である当社孫会社等（以下JX金属と合わせて「子会社等」）が異動することとなりますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. JX金属の上場について

(1) 当社グループにおけるJX金属の位置づけ

当社グループは、「地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。」というグループ理念を掲げ、石油製品ほか、機能材、電気、再生可能エネルギー、石油・天然ガス開発、金属の6事業セグメントを展開しております。

JX金属はそのうち金属セグメントに属しており、フォーカス事業として半導体分野・情報通信分野に欠かせない先端素材の開発・製造・販売を行っており、半導体用スパッタリングターゲットや圧延銅箔を主力製品としております。また、フォーカス事業における製品の原料となる銅やレアメタルの資源開発及び製錬・リサイクルをベース事業として手掛けており、上流から下流までを繋ぐ強固なサプライチェーンをグローバルに展開することにより、安定的に先端素材をマーケットに供給し、持続可能な経済・社会の発展に貢献しております。

## (2) 上場の目的

J×金属は、「J×金属グループ 2040 年長期ビジョン」(2023 年 5 月に一部改定)の中で、「装置産業型企業」から「技術立脚型企業」への転身により、激化する国際競争の中にあっても高収益体質を実現し、半導体材料・情報通信材料のグローバルリーダーとして持続可能な社会の実現に貢献することを基本方針として定めております。

J×金属は、株式上場を通じて、専門性が高く、迅速な意思決定を可能とする経営体制の確立及び事業特性に応じた最適な資本構成を実現し、競争力の高い半導体材料・情報通信材料等の分野における設備投資、R&D等を加速させることにより、企業価値の向上を実現したいと考えております。同分野を成長戦略のコアと位置づけ、先端素材における技術の差別化・市場創造を通じて、市場成長以上の利益成長を目指してまいります。

当社としては、J×金属の株式上場を通じて、事業戦略の遂行及びエネルギートランジションの実現に向けた事業ポートフォリオ転換に必要な投資や株主還元を機敏かつ確実に実行することが可能となります。石油関連事業を通じたエネルギー・素材の安定供給と、合成燃料や水素等の次世代型エネルギー供給等を通じてカーボンニュートラル社会を実現する企業への転身に向けた取り組みを加速することで、企業価値のさらなる向上につながるものと考えております。

## (3) J×金属株式の保有方針

株式上場後J×金属は当社の持分法適用会社となる見込みであり、引き続き当社グループ全体の成長と企業価値の最大化を目指してまいります。一方、J×金属では、独立社外取締役が取締役の1/3以上を占めていることに加え、独立社外取締役が過半数を占め、独立社外取締役が議長を務める任意の指名・報酬諮問委員会を設置する等、少数株主保護の態勢が整い、独立事業体としてのガバナンスが構築されていることから、今後、上場した場合も、自らの取締役会がその実効性を評価し、改善していくことで十分な独立性を確保していくものと考えております。

なお、当社は上場後一定期間J×金属株式の保有を継続すると共に、上場後の株式保有割合は、当社グループとJ×金属との関係を踏まえながら、合理的に判断してまいります。

## 2. 異動する子会社等の概要

### 【J×金属株式会社】

(1) 名称	J×金属株式会社
(2) 所在地	東京都港区虎ノ門二丁目10番4号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 林 陽一
(4) 事業内容	半導体材料事業 情報通信材料事業 基礎材料事業
(5) 資本金	75,000百万円(2025年2月14日時点)

(6) 設立年月日	2002年9月27日	
(7) 大株主及び持株比率	ENEOSホールディングス株式会社 100.0%	
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社は当該会社の株式を928,463,102株(議決権所有割合100%)所有しております。
	人的関係	当社の取締役1名が当該会社の取締役を兼任している他、双方からの出向者も存在しております。
	取引関係	当社グループ会社において当該会社への燃料油及び圧延油の販売並びに当該会社への業務委託等を行っております。
(9) 最近2年間の連結経営成績及び連結財政状態(国際会計基準)		
決算期	2023年3月期	2024年3月期
資本合計	602,492百万円	720,802百万円
資産合計	1,831,557百万円	1,325,887百万円
1株あたり純資産	530.01円	675.73円
売上高	1,638,484百万円	1,512,345百万円
営業利益	72,925百万円	86,172百万円
税引前利益	63,327百万円	78,714百万円
親会社の所有者に帰属する当期利益	36,930百万円	102,624百万円
基本的1株あたり当期利益	39.78円	110.53円
1株あたり配当金	30.59円	—

※上場会社と当該会社の人的関係及び取引関係は、2025年3月期中の変更及び解消があるため、本日時点の詳細はJX金属が作成する「株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご参照ください。

※JX金属は2022年4月1日を移行日として、2024年3月期より国際会計基準に基づいて連結財務諸表を作成しているため、最近2期間の連結経営成績及び連結財政状態を記載しております。その他数値の詳細はJX金属が作成する「株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご参照ください。

【東邦チタニウム株式会社】

(1) 名称	東邦チタニウム株式会社		
(2) 所在地	神奈川県横浜市西区南幸一丁目1番1号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山尾 康二		
(4) 事業内容	金属チタンの製造・販売 プロピレン重合用触媒の製造・販売 電子部品材料の製造・販売		
(5) 資本金	11,963百万円(2025年2月14日時点)		
(6) 設立年月日	1953年8月20日		
(7) 大株主及び持株比率	JX金属株式会社 50.4% その他 49.6%		
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社は当該会社の発行済株式の50.4%を、JX金属を通じて間接保有しております。	
	人的関係	記載すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社のグループ会社との間で、当該会社への触媒製造時に使用する原材料の販売及び当該会社からの触媒の購入をしております。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
純資産	47,166百万円	53,281百万円	56,547百万円
総資産	98,095百万円	111,429百万円	126,002百万円
1株あたり純資産	660.81円	746.73円	794.52円
売上高	55,515百万円	80,351百万円	78,404百万円
営業利益	5,228百万円	10,693百万円	5,628百万円
経常利益	5,177百万円	10,532百万円	6,273百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3,695百万円	7,504百万円	4,951百万円
1株あたり当期純利益	51.93円	105.44円	69.57円
1株あたり配当金	15.00円	30.00円	24.00円

【Nippon LP Resources UK Limited】

(1) 名称	Nippon LP Resources UK Limited		
(2) 所在地	95 Gresham Street, London EC2V 7AB, United Kingdom		
(3) 代表者の役職・氏名	Director Shigetoshi Nakamura		
(4) 事業内容	Los Pelambres 銅鉱山への投資		
(5) 資本金	94,454,921 米ドル (2025 年 2 月 14 日時点)		
(6) 設立年月日	2018 年 1 月 5 日		
(7) 大株主及び持株比率	Nippon LP Resources B.V. 100.0%		
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社は当該会社の発行済株式の 100%を、J X 金属を通じて間接保有しています。	
	人的関係	記載すべき人的関係はありません。	
	取引関係	記載すべき取引関係はありません。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2021 年 12 月期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期
純資産	95,397,567 米ドル	94,821,042 米ドル	96,063,610 米ドル
総資産	95,629,547 米ドル	95,071,976 米ドル	140,883,423 米ドル
1 株あたり純資産	1.01 米ドル	1.00 米ドル	1.02 米ドル
売上高	—	—	—
営業利益	319,266,724 米ドル	49,399,403 米ドル	241,724,159 米ドル
経常利益	—	—	—
税引後当期利益及び 包括利益	284,190,311 米ドル	43,944,023 米ドル	215,267,223 米ドル
1 株あたり当期利益	—	—	—
1 株あたり配当金	3.01 米ドル	0.47 米ドル	2.27 米ドル

【日鋳金属（蘇州）有限公司】

(1) 名称	日鋳金属（蘇州）有限公司		
(2) 所在地	江蘇省蘇州市蘇州工業園區唯亭鎮葑亭大道 536 号		
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 上原 正吉		
(4) 事業内容	ステンレス精密圧延製品及び精密プレス加工品の製造・販売		
(5) 資本金	592,768 千人民元（2025 年 2 月 14 日時点）		
(6) 設立年月日	2003 年 12 月 8 日		
(7) 大株主及び持株比率	J X 金属株式会社 100.0%		
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当該会社は、当社の 100%子会社である J X 金属が 100%出資する子会社であります。ただし、有限公司であるため株式保有はありません。	
	人的関係	記載すべき人的関係はありません。	
	取引関係	記載すべき取引関係はありません。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2021 年 12 月期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期
純資産	95,818 千人民元	114,947 千人民元	114,681 千人民元
総資産	318,647 千人民元	270,537 千人民元	247,397 千人民元
1 株あたり純資産	—	—	—
売上高	556,987 千人民元	478,635 千人民元	399,352 千人民元
営業利益	6,811 千人民元	19,010 千人民元	55 千人民元
経常利益	5,723 千人民元	19,129 千人民元	-263 千人民元
親会社株主に帰属する当期純利益	5,723 千人民元	19,129 千人民元	-263 千人民元
1 株あたり当期純利益	—	—	—
1 株あたり配当金	—	—	—

3. 上場に伴う J X 金属株式の売出しの概要

(1) 売出株式数 465,160,100 株

(引受人の買取引受による国内売出し 304,679,900 株、海外売出し 160,480,200 株。

最終的な内訳は、上記売出株式数の範囲内で、需要状況等を勘案した上で、売出価格決定日(2025 年 3 月 10 日)に決定されます。)

(2) オーバーアロットメントによる売出し(\*) 69,774,000 株 (上限)

(3) 受渡期日 2025 年 3 月 19 日

- (\*) なお、引受人の買取引受による国内売出しにあたっては、その需要状況等を勘案し、大和証券株式会社が、当社から 69,774,000 株を上限として借受ける J×金属株式の日本国内におけるオーバーアロットメントによる売出しを行う場合があります。これに関連して、大和証券株式会社は、69,774,000 株を上限として J×金属株式を引受価額と同一の価格で当社より追加的に取得する権利（以下「グリーンシューオプション」）を、2025 年 3 月 27 日を行使期限として当社から付与される予定です。

#### 4. 当社の所有株式数及び所有割合

	所有株式数	所有割合
上場前 (上記本売出し前)	928,463,102 株	100.0%
上場後 (上記本売出し後)	393,529,002 株	42.4%

※所有割合は、発行済株式の総数に対する所有株式数の割合です。

※上場後の所有株式数及び所有割合は、J×金属株式のオーバーアロットメントによる売出しが上限の株式数にて実施され、当該上限数にてグリーンシューオプションが全て行使された場合の所有株式数及び所有割合です。グリーンシューオプションが全く行使されない場合、当社の所有株式数は 463,303,002 株、所有割合は 49.9%となります。

#### 5. 当社グループにおける子会社の上場に対する考え方

当社グループは、グループ全体での相互補完や連携によるグループ内シナジーを創出しながら、グループ各社の個々の発展によって、グループ全体の事業価値の拡大を目指しています。

子会社の株式上場については、当該企業の事業内容、経営実態や将来性等を踏まえて、当該企業の株式上場が当社グループ全体の企業価値向上に資するかを慎重に検討のうえ、意思決定を行うものと考えています。

なお、現時点では 2023 年 5 月に開示している「2023～2025 年度 第 3 次中期経営計画」において、連結子会社である株式会社 NIPPO の将来的な上場方針については公表しておりますが、具体的な方法、市場、時期等について決定されたものではありません。また、現時点においてその他子会社上場の具体的な計画はありません。

#### 6. 今後の見通し

当社連結決算において、本売出し後 J×金属は当社の連結子会社から持分法適用会社となり、その他の子会社等も異動する見込みです。当社の連結財務諸表へ与える具体的な影響については、判明次第速やかにお知らせいたします。

以 上

本開示文書は、J×金属株式の東京証券取引所への新規上場の承認及びそれに伴う当社所有株式の一部売出しに伴う子会社等の異動について一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2025年2月14日開催のJ×金属取締役会において決議されたJ×金属株式の売出しへの投資判断を行うに際しては、必ずJ×金属が作成する「株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

また、本開示文書は、米国における証券の募集又は販売を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。目論見書は、当該証券の発行会社又は売出人より入手することができますが、これには、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。